

1996 年度第4回日本学生オリエンテーリング連盟幹事会 議事録

日本学生オリエンテーリング連盟 広報部

平成8年2月1日

会場:更新館

15:30 ~ 19:00 20:00 ~ 24:00

議長 大滝 書記 松浦

1. 大会後援(大滝:幹事長)

5/18 新潟大大会 (11/13 受理) - > 承認

前回幹事会で承認されたインターハイ及び併設大会について
インターハイ実行委員会より中高生参加者の財政的負担軽減などのため学連マップである「行川2」「毘沙門山2」を無償提供してほしい、その見返りとして学連加盟員、評議員、賛助会員の参加費を割り引きにするという要望あり。
要求通りに中高生使用分及び事前準備用として200枚ずつ計400枚をメドに贈与することに決定
- > 承認

2. 各部局活動報告

(1)事業部 (岡見:事業部長)

開会式当日に非シード選手スタート順抽選を実施。

後夜祭228名、講習会102名の参加申し込みあり、ガイドも作成の予定。

インカレTシャツ2700円で決定。注文受付中。

インカレガイドは2月中旬印刷予定。

会場の後片付けを他学連の加盟校にお願いしたい。

IDカードはオフィシャル、一般参加者に配布の予定。

Q. IDカードは学生以外の参加者全員に配布ということか(松浦:副幹事長)

A. はい(岡見)

Q. 代表者を識別するカードは作らないのか(大滝)

A. 何も聞いていない(岡見)

実行委員会と調整してください(大滝)

(2)事務局 (後藤:事務局長)

1)会計状況について

交通費、事務費として補正予算100000円を請求

理由:事務局封筒を5000部作成に45000円、インカレエントリー関係書類の印刷、郵送費40000円程度余分にかかったため。 - > 承認

2)賛助会員の会場受付について

関東以外の大会では事務局員が出向くのは限界。地区学連にやっていただきたい。

3)事務局の今後

早大OC大会にてインカレプログラムを配布。

次回総会の準備

Q. 理事OBなどにいぶきやインカレの招待状などを送ってみては(村越:5回ICS実行委員長)

A. 検討してみます。

日本学生オリエンテーリング連盟

Q. 賛助会員の多くは賛助金を払うのがいやなのではなく平日に払い込みに行くのがめんどくさいだけであろうから賛助金を銀行の自動引き落としにしてみてもは(村越)

A. 検討してみます。

(3)広報部 (村中:広報部長代理・中九四地区代表幹事)
いぶき第4号の発行送れている。2月上旬には発行したい

3. 19回インカレ実行委員会活動報告 (大平:19回インカレ実行委員長)

プログラム、モデルイベントの地図は早大大会で配布

地図作成は順調、2月中に仕上がる予定

エントリー遅れの大学1校あり。始末書を書かせ2次エントリーの代金で1次エントリー扱いにする。

推奨テレインの使用に当たってはきちんと届け出をしてください。

参加者の誘導、片付けなどに学生の協力をお願いしたい。見返りとして地図などを提供するつもり。

団体戦の抽選を幹事会立ち会いの下でこのあとおこないたい。

注 この後休憩時間内に新旧幹事及び会計監査、広江理事、村越第5回インカレショート実行委員長立ち会いの下インカレ団体戦の抽選が厳正に行われた。

今回は特例として一般併設大会に学生の参加を認める。

Q. 個人戦の出場選手変更の場合変更された選手はクラシックの一切の競技に参加できないと規約にあるが。(小田:東海地区代表幹事)

A. そのとおりです。

Q. 学生の当日役員は競技に支障はないのか。(与儀:会計)

A. はい

4. 1997年度予算について(与儀)

収入は概算

広報、事務局、ユニバー補助金の申請がない。予算の折衝は2月末までなのでそれまでをお願いしたい。

ユニバー補助金は2年間で100万円、単年度では50万円なのでそのように担当者に説明して処理してほしい。(広江:理事)

Q. 地区学連補助金は予算段階では総額のみを示し割り当ては第1回幹事会で決めるのでは。(大滝)

A. 基本的に学連からお金を受け取る場合1月までに申請が必要なので以後そうしてもらいたい。

5. 会計報告(与儀)

前回からの主な収支は賛助金収入、販売収入、20回インカレ実行委員会への貸付金。

会計状況はおおむね予定通り

6. 20回インカレ実行委員会活動報告
(松浦: 20回インカレ実行委員・副幹事長)
予算案できました。
地図調査中
要項1準備中

7. 18回インカレ実行委員会活動報告
会計報告
収入合計 46,545,360 円、
支出合計 42,683,416 円、
3,874,444 円の黒字

8. 日本学連セミナー報告(大滝)
参加者 23 人、収入 23800 円、支出 16045 円、7755 円の黒字
講師の方に謝礼を渡したがそのまま学連に寄付していただいた。
報告書を春頃までに作ります。
報告書は安く(100 円程度)作って数多く売り、多くの人に読んでもらいたい。(広江)
Q. 選手登録制度が実施されてから報告書を発行してはみんなの興味が薄れて売れ行きが落ちるのでは。(山下: 関西地区代表幹事)
A. 選手登録制度がこの春から実施されるかどうかは微妙。(広江)
JOAが何をやっているか知るうえで重要な資料になりそうである。(与儀)

9. 第5回インカレショートについて (村越)
実行委員会が理事会において承認された
1次調査を4月末までに終わらせ、6月頃試走の予定
開催日について話し合ってもらいたい
<以下実行委員会からの提案>
10月11日(土)にICSを開催し、12日(日)に別日大会を開催したい。
メリット: 財政的に楽
遠隔地の大学の移動が楽
月曜日の講義に支障がない
デメリット: 土曜日に講義のある大学がある
ショートの単独開催では採算が取れない。
10日が祝日であるので遠隔地の大学では移動が楽である。
10日の開催では実行委員会側の前日の準備が平日になり苦しい。
12日の開催では遠隔地の大学の月曜日の講義に支障がある
土曜の講義を切るか月曜の講義を切るかの問題。土曜の講義を切る方がましなのでこの日程でいいのでは。(松浦)
遠隔地の大学には土曜に講義のある大学は少ないのでこの日程でいいと思う。(与儀)
Q. 11日に別日大会を行い12日にショートをするとうなるのか。(与儀)
A. テレインの制約上別日大会は別テレインでやらなければならない。また、遠隔地の大学の月曜日の講義に支障が出てくる。
今後安定して継続的にショートを開催して行くためには学生の方にも何らかの犠牲を払ってもらうということになる事をこの際学生側にも認識してもらいたい(広江)

日本学生オリエンテーリング連盟

ほかのスポーツもインカレなどは平日に行われているので講義を休んで行くことも多少は考えてもらいたい。(村越)

幹事会は全会一致で 10 月 11 日インカレショート、12 日別日大会を開催するという実行委員会案を了承することを決議。

2002 年ユニバーシアード日本開催について(村越)

2002 年のユニバーシアードを日本で開催するビジョンがある。ユニバーは開催希望国が少ないのが現状であり、今後話を詰めて行きたい。

11. 学連合宿について(大滝)

12 月に関西(奈良県榛原)で開催された。おおむね周知されているようであった。参加者も多く好評だった。

2月8日にも日光で予定している。

東海学連の合宿と日程が重なってしまった。もっと早く日程を知らせてほしい(小田)

会計処理を適切にしてほしい(松浦)

12 月の合宿はしっかり広報されていたが2月の合宿は広報を電子メールに頼り過ぎているのではないか。

会計処理を適切に(ユニバー予算との混同を避ける、新会計システムに準拠してもらう)してもらう。広報をきちんとしてもらう。

上記2点を前提にして来年度も予算を 20 万円(今年度と同額)つける事を承認

12. 理事会活動報告(大滝、広江)

12 月 28 日に理事会を行ったのでその内容を報告する。

1)第5回インカレショート実行委員会承認

2)第19回インカレシード選手決定(男子11名、女子6名)

3)第19回インカレ裁定委員決定

筆谷敏正(早稲田大学卒)

松久覚(立教大学卒)

土方隆(東北大学卒)

4)インカレコントローラー決定

ショート

第5回:加賀屋博文(筑波大学卒)

クラシック・リレー

第20回:桜井太郎(東京大学卒)

第21回:中村弘太郎(京都大学卒)

5)理事1名を必ず幹事会に派遣する事を決定。

6)理事改選について

任期満了に伴いリストラを図りたい。

具体的には

あまり機能しているとは言えない地区担当理事を廃止する。

学生では手に負えない仕事の増大に対して理事ではないが幹事会をサポートする組織として組織強化委員会(仮称)をつくりたい。

組織強化委員会(仮称)は広江理事を委員長に木俣順(名古屋大学卒)、大滝民己(東京大学4

日本学生オリエンテーリング連盟

年)、松浦泰宏(東北大学4年)の3名を委員に予定している。
理事退任後の山岸、筆谷両氏には今後も学連に参与として残っていただきたい。

組織強化委員会(仮称)について

Q.新委員会と幹事会との関係は(後藤)

A.対等です。技術委員会などと同等(広江)

新しい組織なので最初の1~2年は特に幹事会と関係を定めずにやってみて常設委員会にする場合に規約として関係などを規定してみても(庄司:会計監査)

Q.新委員会は自分で仕事を探して行くのか(中村:新関東地区代表幹事)

A.最初はそうなる。退任される理事の担当業務のフォローも行う。(広江)

Q.幹事会が新委員会になにをやってもらいたいのか頼むべきでは(中村)

A.それが理想である(広江)

Q.規模はどの程度に(小田)

A.理事会と同程度が限度ではないか(広江)

任期は理事と合わせて2年が妥当か(松浦)

任期は2年より1年の方が発足に立ち会った人が評価できるので良いのではないか。(後藤)

幹事会に理事又は新委員が積極的に出席してくれるのなら良い。(後藤)

#組織強化委員会(仮称)を1年間の非常設委員会として設置することを承認。次回総会にて報告。

組織強化委員会(仮称)

委員長:広江敦良(東京大学卒・理事)

委員:木俣順(名古屋大学卒)

:大滝民己(東京大学4年)

:松浦泰宏(東北大学4年)

理事改選について

山岸、天野、筆谷、小山、松久、鈴木の6名の理事が任期満了に伴い退任。

理事会は山岸、筆谷両理事を退任に伴い参与に推薦。

- > 総会で承認

上田、広江、山川、土方、木村の5名の理事を留任とし新に佐藤信彦(東京大学卒・技術委員長)を理事に加える。

- > 幹事会として上記の6名の理事を任命。総会で承認。

13. 1995年度決算報告(清水:95年度会計)

前回総会資料を修正しました。次回総会で承認の予定。

活動報告書作成委員長の選任について

次回の総会で承認を取ることになる。

関東で調整中

15. 会計監査の選任について

次年度の会計監査を次回の総会で承認を取る。(2名)

立候補予定者に関しては調整中。

関西学連への地図販売について (大滝、山下)

19回インカレの地図を関西学連に安価に大量に売ってほしいと言う要望が関西学連より出されている。(大滝)

個人戦使用マップ 1000枚、団体戦使用マップ 1400枚、計 2400枚を希望。(山下)

主な使用目的は学連合宿やセレクションがメインになり外部への販売は少量になるだろう。(山下)

財政規模の小さい学連なのでなるべく安く売ってほしい。1枚 40円として 96000円になるができればそれ以下でお願いしたい。(山下)

地元学連への還元と地区学連の振興のために安く売るべきだ(広江)

今後関東以外でインカレが開催された場合こう言ったことは多く考えられるであろう。

Q. 不利益を感じるのは関東学連なので関東に特に異論がなければ安く売っても良いと思うが、関東学連はどう思っているのか。(松浦)

A. 関東学連は財政的にも潤っているし特に異論はないだろう。(渡辺:関東地区代表幹事)

今後のことを考えて金額には基準が合った方が良いでしょう。

業者の見積では印刷原価が5~6万円とで手いるがそれを基準にしてはどうか。(大滝)

#販売、渉外等の責任を関西学連に負ってもらうことを条件に19回インカレ使用マップを印刷原価である60000円で関西学連の要求枚数どおり売却することを決定。

17. 次回総会について(大滝)

インカレ閉会式翌日におこなう。

会場は後夜祭宿舎がよい。会場の確保は岡見に依頼。

時間は9:30~14:00(昼食休憩含む)の予定。

議案書、資料は早急に事務局に郵送又は電子メールで送ること。